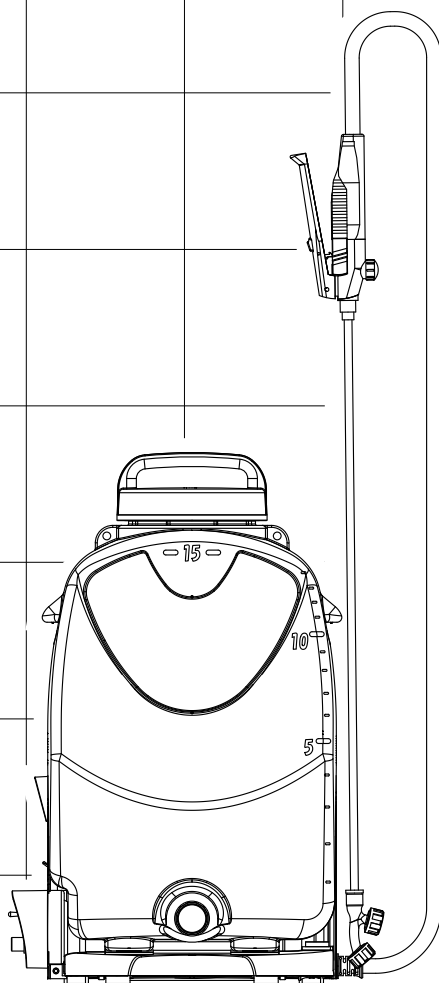




## 取扱説明書

# 充電式噴霧器

# MUS155D/MUS156D



はじめてお使いになる前に  
16ページ、18ページの  
様にバッテリーの充電をして  
ください。

ご使用前に必ずお読みください。  
まずはじめに▲安全に作業するために  
をお読みください。



リチウムイオンバッテリーのリサイクルにご協力ください。

Li-ion

このたびは、本製品をお買いあげいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、安全で快適な作業を行っていただくために、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮出来るようにこの冊子をご活用ください。

お読みになったあと必ず大切に保管し、本製品を末永く使用できますようにご活用ください。なお、より良い製品をご提供するために製品と本書の内容が一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

本製品についてお気づきの点がございましたら最寄りの取扱店にお問い合わせください。

- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 紛失した場合は最寄りの取扱店にてお買い求めください。
- 本製品を改造することは、安全で快適な作業に支障をきたすだけでなく、大変危険ですのでおやめください。

## ■適用範囲について

本製品は、水田、畑、果樹園、牧場等における散布作業を目的とした製品です。（「使用用途」に詳細記載）この使用目的範囲を逸脱しての使用が原因での事故、許可なく改造及び分解を行い、それに伴って生じた事故に関しては、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■注意事項について

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

- ▲ **危険** …もし警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるもの。
- ▲ **警告** …その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性があるもの。
- ▲ **注意** …その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。
- 注意** …その警告に従わなかった場合、機械の損傷の可能性のあるもの。

## 使用用途

### ▲ 危険

本製品は、次の作業にご使用になれます。他の用途には、ご使用にならないでください。違った用途に使用すると、安全を損なう恐れがあります。

- 1) 水田作物の病害虫に対する薬剤散布。
- 2) 一般畑作物の病害虫に対する薬剤散布。
- 3) 果樹一般の病害虫に対する薬剤散布。
- 4) ハウス栽培作物の病害虫に対する薬剤散布。
- 5) 花栽培作物の病害虫に対する薬剤散布。
- 6) 牧舎・鶏舎などへの消毒液・殺虫液の散布。
- 7) 庭木・盆栽・芝生の病害虫に対する薬剤散布および散水。
- 8) 都市衛生用消毒液・殺虫液の散布。
- 9) 公園などの花壇・街路樹の病害虫に対する薬剤散布。
- 10) 雑草防除に対する除草剤の散布。
- 11) 野菜・根菜の洗浄および散水。

自分が使用するつもりで！



## ■本製品を貸すとき、ひとに操作させるとき

事前に取り扱い方を教え、本製品に貼ってある▲（安全注意マーク）印の付いている警告ラベルについても一枚ずつ説明してください。

本製品と一緒に、この取扱説明書を渡し、よく読んで正しく安全に取り扱うように指導してください。

特に禁止事項については、念を入れて説明してください。

ご家族に操作を頼む場合も同様です。

## 作業前の注意

### ⚠️危険

- ・次のような状況にある人は、散布作業をしないでください。正常な操作ができなかったり、通常よりも薬剤の影響を受けやすく、事故にあう可能性があります。
- ・身体を露出しないように、身体にあった大きさの適切な保護具を着用してください。保護具が不適切な場合、薬剤が身体に付着し薬害をおこす可能性があります。

こんな人は散布作業をしてはいけません

- 過労、病気、けが、薬物の影響、その他の理由により正常な散布作業ができない人。
- 酒気を帯びた人。
- 妊娠中および産後1年を経過していない女性
- 負傷中や生理中など薬剤による影響を受けやすい人。
- 満15歳未満の人。



作業に適した服装をします

保護具はいつも正常に機能するように、点検・整備をして正しくご使用ください。



## ご使用時の注意

### ⚠️危険

- ・強酸性の薬品、強アルカリ性の薬品、塗料、シンナー、ガソリン、灯油、ベンジン、アルコールなどを噴霧しないでください。やけどや火災の可能性があります。
- ・引火性の高い薬剤は火災の恐れがありますので使用しないでください。

### ⚠️警告

- ・ノズルを人や動物に向けないでください。薬剤がかかると薬害をおこす可能性があります。
- ・薬剤がはねたり、こぼれないようにしてください。人体にかかると薬害をおこす可能性があります。
- ・必ずポンプを停止してから、清掃作業を行ってください。ポンプが動いていると薬剤が出て、薬害をおこす可能性があります。
- ・ノズルをのぞきこまないでください。目や顔などに薬剤がかかり、薬害をおこす可能性があります。
- ・パッキンは傷や変形のないものを使ってください。異常なパッキンを使用すると薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。
- ・パッキンのある部分の組み立ては、確実に締めてください。締め付けが強すぎるとパッキンが破損して薬剤が漏れ、また弱すぎてもすき間から薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。
- ・改造しないでください。安全を損なう可能性があります。
- ・自動車などで運搬するときは、本製品が転倒しないように固定してください。転倒して薬剤が漏れると、薬害をおこす可能性があります。
- ・不具合を発見したときは、直ちに作業を中止し、整備・修理してください。整備不良のまま作業を続けると、薬害をおこしたり、けがや器具の損傷をおこす可能性があります。

### ⚠️注意

- ・無理な姿勢で背負わないでください。けがの原因となります。
- ・足場を整ってから背負ってください。足場の悪いところで作業をすると、転倒の可能性があります。

**注意**

- ・薬剤はストレーナを通して注入してください。異物が入ると故障の原因となります。
- ・ノズルは必ず手で締めたり緩めたりしてください。プライヤーで回すと、ノズルが破損する可能性があります。
- ・散布作業終了後は必ず、ポンプの内部をきれいな水で洗浄します。ポンプ内部に薬剤が残っていると、ポンプ故障の原因となります。
- ・ノズルから霧が出なくなったら、ポンプを止めてください。ポンプの空運転を続けると、ポンプ故障の原因となります。
- ・本製品の内部に水分を残さないでください。冬季凍結により、ポンプを破損することがあります。
- ・倒したり、ぶつけたりしないでください。故障の原因となります。
- ・背あて、背負バンドは、素材の性質上、水分や摩擦などにより色落ち、色移りする場合があります。濡れた場合は、乾いたタオルなどで水分を拭き取り、風通しの良いところでよく乾かしてからご使用ください。

**ポジティブリスト制度について**

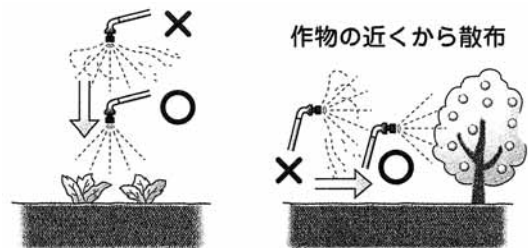
食品衛生法の農薬残留基準にポジティブリスト制度が導入されます。今まで残留基準値が決められていなかった農産物に一律の厳しい基準が設けられます。定められた基準を超えて農薬が残留する食品は販売等が禁止されるため、散布する薬剤が周りのほ場にドリフトしないよう、これまで以上に、ドリフト防止に気をつける必要があります。また、周辺ほ場へのドリフトが問題になるばかりではなく、ドリフトが周辺住民に迷惑をかけることもあります。さらに、湖沼などの水源へ混入すると環境破壊にもつながります。圏外へのドリフトを減らすことは様々な面から求められています。

**ポジティブリスト制度とは？**

食品衛生法に基づく残留基準値が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の販売等を原則禁止とする制度です。この一定量とは「人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が定める量」として、原則0.01ppmとなっています。(いわゆる一律基準)

※散布しようとする作物以外に農薬がドリフトしないように細心の注意をして散布しましょう！

- 農薬散布時は必ず守りましょう。
  - ①風の弱い時に散布します。
  - ②散布の位置や方向に注意します。
  - ③適正なノズルを使い適正な圧力で散布します。
  - ④適正な量を散布します。
  - ⑤園地の端部では特に注意します。
  - ⑥薬剤タンクやホースをしっかりと洗浄します。

**もっと詳しく知りたい方へ**

ポジティブリスト制度・農薬ドリフト対策についてのホームページ

- 農林水産省ホームページ「農薬コーナー」 <http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>
- 日本植物防疫協会(JPPネット)ホームページ「農薬散布技術情報」 <http://www.jpnpn.ne.jp/jpp/public/sanp.html>
- 全国農業協同組合連合会「アグリインフォ」 <http://www.agri.zennoh.or.jp/hiyaku/positivelist/default.asp>

## ご使用後の注意

### 警告

- ・作業が終わったら、全身をよく洗ってください。目をきれいな水で洗い、うがいをしてください。身体に薬剤が付着していると、薬害をおこす可能性があります。
- ・薬剤は薬剤タンクに残らないように散布してください。残ったままで保管すると、次回使用時に薬剤が混ざって作物が薬害をおこす可能性があります。
- ・損傷箇所がある場合は、修理してから保管してください。修理に使う部分や消耗品は、当社指定の純正部品をご使用ください。純正部品以外のものを使用すると、安全を損なう可能性があります

### 注意

- ・付着した薬剤はきれいに取り去ってください。薬剤が付着していると、サビの発生や故障の原因になります。
- ・乾燥した清潔な場所に保管してください。湿気やチリの多い場所に保管すると、故障の原因になります。
- ・電気部品が内蔵されています。薬剤補給時は水入口からこぼさないようにして下さい。

## 薬剤について

### 警告

- ・強酸性の薬品、強アルカリ性の薬品、塗料、シンナー、ガソリン、灯油、ベンジン、アルコールなどを噴霧しないでください。やけどや火災の可能性があります。
- ・引火性の高い薬剤は火災の恐れがありますので使用しないでください。
- ・使用する薬剤の取扱説明をよく読んで、用法、用量、使用上の注意を守って正しくご使用ください。散布量や薬剤の種類を間違えると、薬害をおこします。
- ・薬剤は安全な場所に保管し、運搬するときは容器が破損しないように気をつけてください。薬剤が漏れ出すと薬害をおこします。
- ・薬剤は、幼児の手の届かないカギのかかる専用の場所に保管してください。幼児が触ると、薬害をおこす可能性があります。
- ・薬剤の取り扱いに注意してください。万一目や口に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ・ハウス内で作業するときは、換気に注意してください。換気が不十分だと薬害をおこします。
- ・頭痛やめまいを感じたり、気分が悪くなったときは、すぐに作業を中止して医師の診察を受けてください。
- ・風向きを考慮して、周辺の他の作物や畜舎、養魚池、水源地、河川、湖沼、住宅、通行人に飛散させないように散布してください。

**警告**

- ・風上から風下に向かって作業してください。風下から作業すると作業者が薬剤を浴びて、薬害をおこします。



- ・散布作業は朝夕の涼しい時間帯に行ってください。気温の高い時間帯は散布後の薬剤の蒸気を吸いこみ薬害をおこす可能性があります。
- ・薬剤を散布した直後の場所へは入らないでください。散布後の薬剤の蒸気を吸いこみ薬害をおこす可能性があります。
- ・作業中の喫煙・飲食は控えてください。タバコや手についた薬剤が口から入り薬害をおこす可能性があります。
- ・薬剤は飲み物や食べ物の容器には移し替えないでください。誤って飲み込むと薬害をおこす恐れがあります。
- ・作業後は使用した保護具を十分に清掃してください。
- ・作業に使用した作業衣は他の洗濯物に薬剤が付かないよう分けて洗濯してください。

**注意**

- ・水和剤などを使用する場合は、あらかじめバケツなどの容器に決められた倍率に調合して、よく溶かしてください。
- ・有機溶剤を含む薬剤のご使用はお控えください。有機溶剤はパッキン、ホース類を傷めやすい薬剤です。やむを得ずご使用される場合は、使用後に必ず清水で十分に洗浄してください。洗浄が不十分ですとパッキン、ホース類が損傷し、機械故障の原因になります。

**バッテリー（電池）の取り扱い****危険**

- ・バッテリーの液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の診察を受けてください。失明の可能性があります。
- ・充電には必ず標準付属の充電器をご使用ください。他の充電器を使うと、バッテリーが破裂する原因となります。
- ・次のことを守ってバッテリーをご使用ください。間違っていると、バッテリーを漏液、発熱、発火、破裂させる原因となります。
  - 分解・改造しないでください。
  - ハンダ付けしないでください。
  - 充電には、専用の充電器をご使用ください。
  - 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
  - バッテリーの端子部（+端子と-端子など）を金属類で接続しないでください。
  - 指定された機器以外に接続しないでください。
  - 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口などに直接接続しないでください。



**警告**

- ・指定のバッテリー以外を使わないでください。
- ・改造したバッテリー（分解したセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）も使用しないでください。作業機本体の性能や安全性も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。
- ・バッテリーを水や海水につけたり、濡らさないでください。バッテリーの発熱や、サビの原因となります。
- ・バッテリーの外装を傷つけたり、チューブをはがさないでください。バッテリーの漏液、発熱、発火、破裂の原因となります。
- ・バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に障害を起こす可能性があります。
- ・バッテリーは乳幼児の手の届かないところに保管してください。乳幼児がバッテリーに触ると、感電や皮膚障害を起こす可能性があります。
- ・必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。
- ・バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電、使用、保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ・使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ・落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。

**注意**

- ・バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。バッテリーの漏液や発熱、破裂の原因となります。
- ・40℃以上の高温で使用・保管しないでください。バッテリーの漏液、性能劣化、寿命低下の原因となります。


## 充電器の取り扱い

**危険**

- ・充電には、必ず標準付属の充電器をご使用ください。他の充電器を使うと、バッテリーが破裂する原因となります。

**警告**

- ・必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。
- ・芯線の露出や断線など、電源コードが傷んだら使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ・表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で充電しないでください。火災、感電の原因となります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。
- ・コードの上に重いものをのせたり、本製品の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて火災、感電の原因となります。

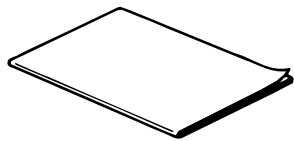
	ページ
1.  安全に作業するために	2
ポジティブリスト制度について	3
2. 付属品と各部のなまえとはたらき	8
付属品のご確認	8
3. 警告ラベルの取扱い	9
警告ラベル	9
4. 取扱および操作のしかた	9
ノズルの選択	9
ノズルの組立・バンドの調節	10
5. 始業点検	11
バッテリー残量の確認	11
運搬時の注意	11
薬剤の調合・計量カップの使用法	12
ストレーナの脱着のしかた	12
薬剤タンクの蓋の密閉	12
6. 運転のしかた	13
始動・運転	13
グリップの使いかた、停止	14
吸水弁が固着したとき	14
バッテリー残量計の見かた	14
充電のしかた	15
バッテリーの充電（MUS155Dの場合）、充電表示ライトについて	16
バッテリーの充電（MUS156Dの場合）、充電完了メロディーの切替方法、充電表示ライトについて	18
散布作業後	21
水抜きのみかた・ノズルの清掃	21
7. 保守点検	22
背負バンドの点検整備	22
8. 長期保管	22
格納	22
9. 故障と対策	23
10. サービスと保証について	24
保証について	24
アフターサービスについて	24
11. 主要諸元	25
仕様	25
12. 保証書	26



## 付属品のご確認

梱包箱を開けたら、まず付属品が揃っているかどうか、確認してください。万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い求めの販売店にお申し出ください。

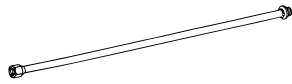
### 付属品



取扱説明書



2頭口ノズル

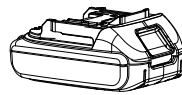


ノズルパイプ

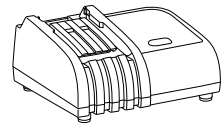


除草ノズル

MUS155DSHの場合



バッテリー (BL1815N)

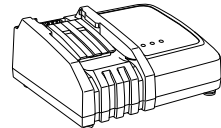


充電器 (DC18SD)

MUS156DRFの場合

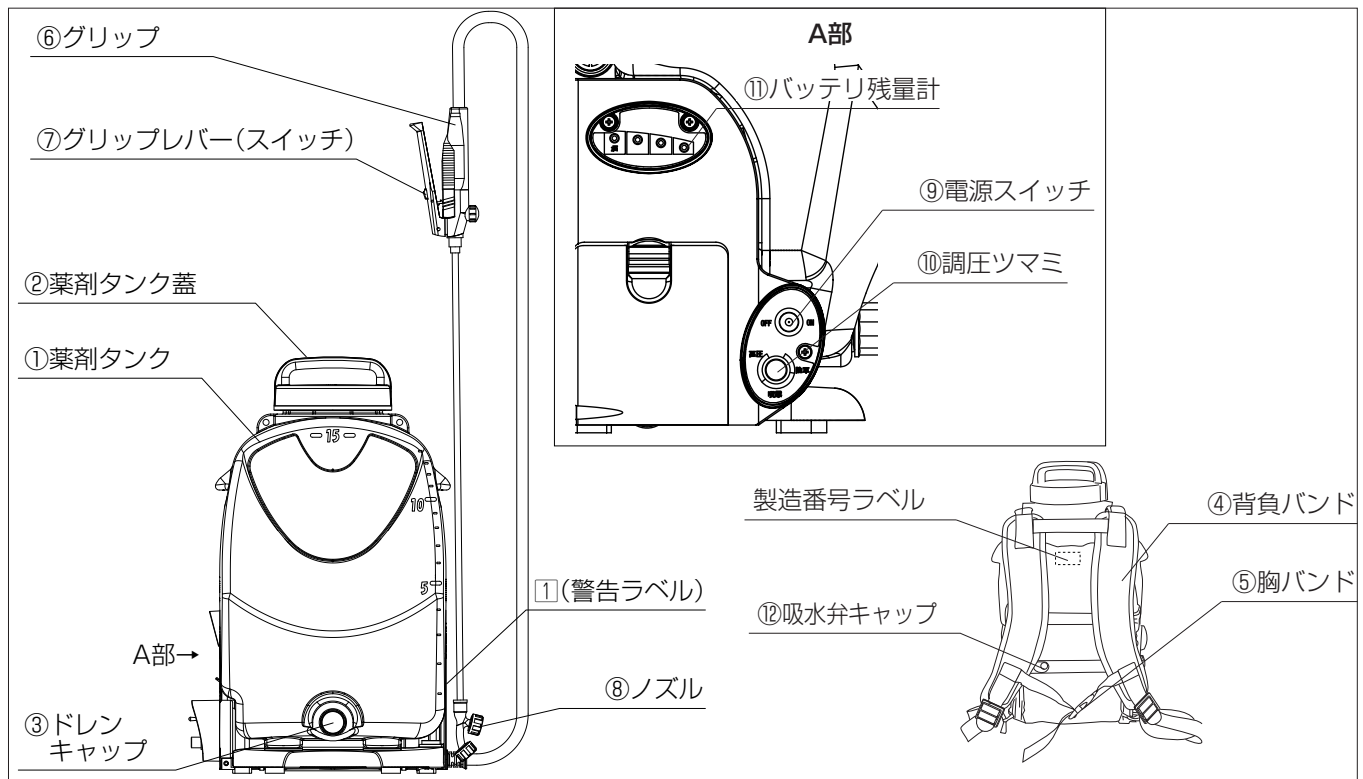


バッテリー (BL1830)



充電器 (DC18RC)

※MUS155DZ、MUS156DZは充電器、バッテリー別売です。



- ①薬剤タンク………薬剤が15L入ります。
- ②薬剤タンク蓋………蓋を外して、薬剤を入れます。
- ③ドレンキャップ………薬剤をここから抜きます。
- ④背負バンド………バンドを引くと体に合せて長さが調節できます。
- ⑤胸バンド………体形に合せて調節します。
- ⑥グリップ………噴霧・閉止を行ないます。

- ⑦グリップレバー………握るとポンプが動きます。
- ⑧ノズル………グリップレバーを握ると噴霧します。
- ⑨電源スイッチ………右に倒すと電源が入ります。
- ⑩調圧ツマミ………右に回すとポンプの圧力が上がります。
- ⑪バッテリー残量計………バッテリーの残量を表わします。
- ⑫吸水弁キャップ………吸水弁固着時に押すことで、固着を解除できます。

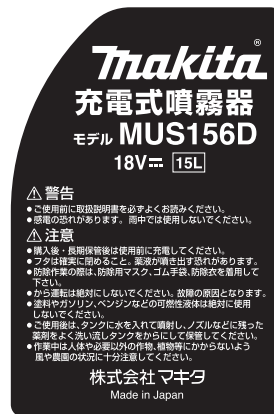
# 3.警告ラベルの取扱い

## 警告ラベル

### ! 注意

- ・警告ラベルは表示内容がいつもハッキリと見えるように清掃してください。清掃する際はシンナーやベンジンなどの有機溶剤はラベルをいためるので使用しないでください。
- ・警告ラベルが損傷したときは、新しい物と交換してください。警告ラベルは、本製品をお買い求めの販売店で購入できます。
- ・警告ラベルを貼ってある部品を交換したときは、警告ラベルも新しい物を用意して、所定の位置に貼ってください。

・本製品には、下図のような警告ラベルが貼ってあります。よく読んで正しくお使いください。



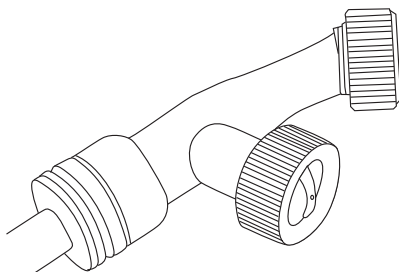
# 4.取扱および操作のしかた

## ノズルの選択

本製品には、2種類のノズルが付属しています。作業に適したノズルを選んでください。

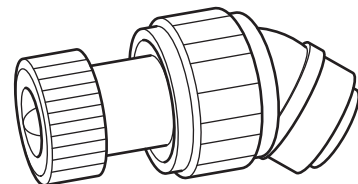
### 2頭口ノズル

広い範囲に細かい霧で散布するノズルです。害虫防除、散水などに向いています。



### 除草DLノズル

狭い範囲に比較的大粒の霧で散布するノズルです。除草剤など、周囲に飛び散るのを抑えたい作業に向いています。



## ノズルの組み立て

### 警告

- ・パッキンは傷や変形のないものを使ってください。異常なパッキンを使用すると薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。
- ・確実に締めてください。締め付けトルクが強すぎるとパッキンが破損して薬剤が漏れ、また弱すぎてもすき間から薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。

### 注意

- ・ノズルパイプにノズルを締めつける際は、手で締め付けてください。工具で強く回しすぎると、破損する可能性があります。

2頭口ノズルの場合を例にして説明しています。

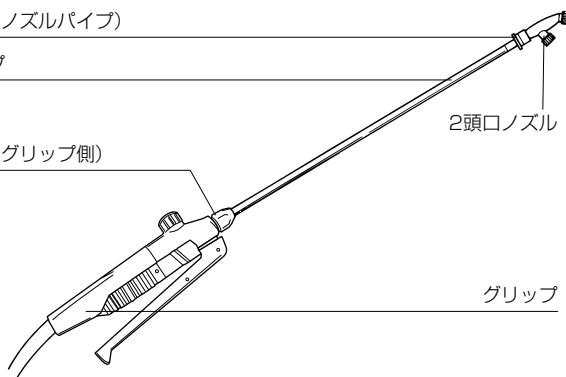
パッキンB (ノズルパイプ)

ノズルパイプ

パッキンA (グリップ側)

2頭口ノズル

グリップ

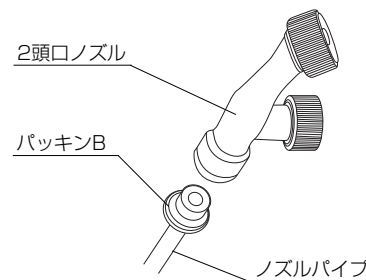
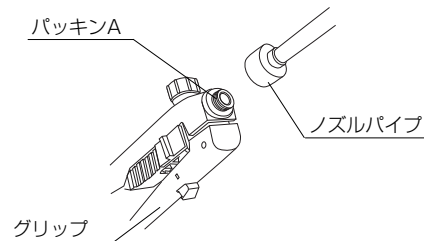


①グリップにパッキンAが正しく付いていることを確認します。

②グリップを手で持ち、ノズルパイプのナットをスパナ等で回して締めます。

③ノズルパイプのノズル側にパッキンBが正しく付いていることを確認します。

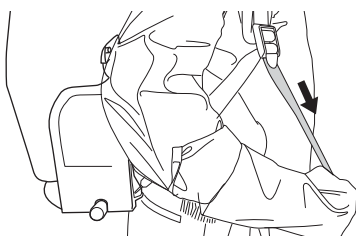
④ノズルパイプにノズルを手で回して締めます。確実に締め付けてください。



## バンドの調節のしかた

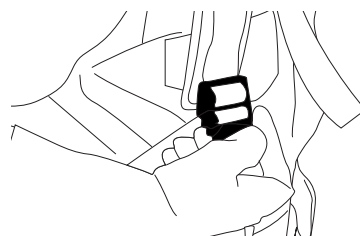
### [背負バンドの調節]

①バンドを短くするとき



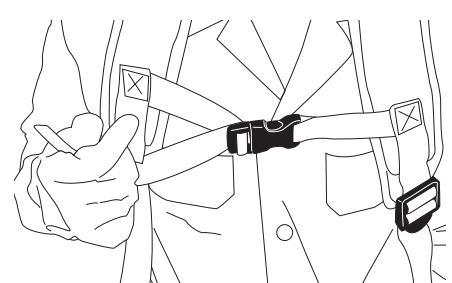
前垂れのバンドに沿って下方へ引き下げます。

②バンドを長くするとき



前垂れのバンドを上方へ送り込みます。

### [胸バンドの調節]



バンドを短くするときは右方に引き、長くするときは左方へ送り込みます。

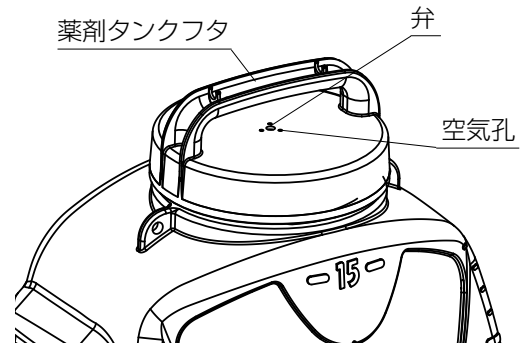
- その日の作業を始める前に行う点検が始業点検です。始業点検を毎回行うことによって、事故あるいは故障などを未然に防止することができます。非常に大切な点検ですので、必ず実施してください。
- 各部ネジにゆるみがないか点検します。
- 作業前日にバッテリー容量を確認して、不足しているときは充電します。

## ⚠ 注意

- ネジがゆるんでいると事故につながります。
- 背負バンド・胸バンドの長さを自分の体形に合わせて、調節します。
- 警告ラベルが本体からはがれた場合は購入して貼付してください。
- 背負バンドに損傷（切れやホツレ）がないか点検します。損傷があった場合、使用せずに背負バンドを交換してください。

## 注意

- 薬剤タンクフタの空気孔が、つまってないか点検します。つまっていれば、空気孔と弁を掃除してください。空気孔がつまると吐出圧力の低下、薬剤タンクを破損する原因となります。



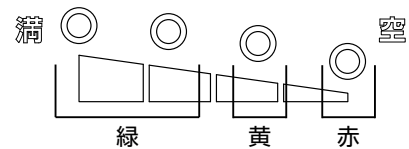
## バッテリー残量の確認

### 注意

- 必ずポンプに水が吸水されている状態で、点検してください。ポンプ内に水が入っていないとポンプが空運転となり故障の原因になります。

- 1 本機の吸水弁キャップを指で軽く押しします。（吸水弁キャップの場所は8ページもしくは14ページを参照ください。）
- 2 薬剤タンクにきれいな水を1ℓ入れます。
- 3 電源をONにして、ポンプに吸水させます。（6運転のしかた参照）ノズルから霧を噴出させてバッテリー残量計のランプを確認します。  
※バッテリー残量の確認は、実際に使用する噴霧圧で行ってください。

- 4 本機や配管部からの水漏れが無いことを確認してください。

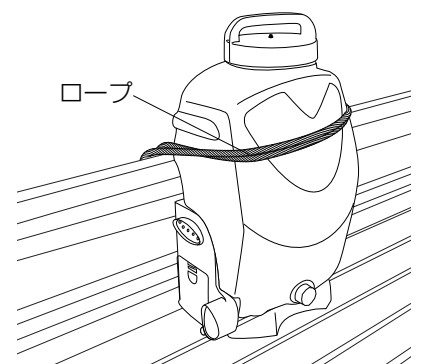


バッテリー残量計の指示が緑色ランプの範囲内であっても、点灯数が1個の場合は運転できる時間が短いので、充電してください。

## 運搬時の注意

### ⚠ 注意

- 本機を持ち上げるときは、薬剤タンク側面の取っ手もしくは薬剤タンク蓋の取っ手を持ってください。薬剤タンクの下やカダイを持つと、薬剤タンクとカダイの間で手をはさむ恐れがあります。
- 自動車などで運搬するときは、本製品が転倒しないように固定してください。
- 自動車への固定は右図のように、ロープで固定すると便利です。



## 薬剤の調合

- 使用する薬剤の説明書をよく読み、調合方法、使用上の注意に従ってください。
- 散布計画を立て、薬剤は余らないように作ってください。

## 計量カップの使用法

### 注意

- 薬剤の処方基準を越えた濃度で使用しますと作物に薬害を引き起こす場合があります。また本機の消耗を早めます。特に水和剤についてはご注意ください。
- 薬剤、水はゴミが混じらない様、必ずストレーナを通して薬剤タンクに入れます。異物が入ると故障の原因となります。
- 発泡性の高い薬剤を使用時は15L未満の容量で使用してください。薬液をタンクに投入時にあふれる恐れがあります。

薬剤タンクフタの裏の計量カップを使用すると便利です。(計量カップは薬剤タンクフタから脱着できます。)



①計量カップを薬剤タンクフタから外します。

### 希釈倍率と薬剤量の換算表

倍率	タンク内水量	15L
50倍		300 (ml)
100倍		150
200倍		75
500倍		30

本表の数値は希釈倍率の目安です。下記数式にて計算してください。

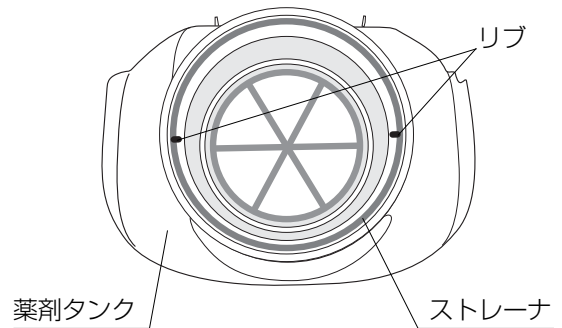
$$\text{使用薬液量 [mL]} = \frac{\text{タンク内水量 [L]} \times 1000}{\text{倍率}}$$

- ②計量カップに薬剤を入れ、薬剤タンク内に入れます。

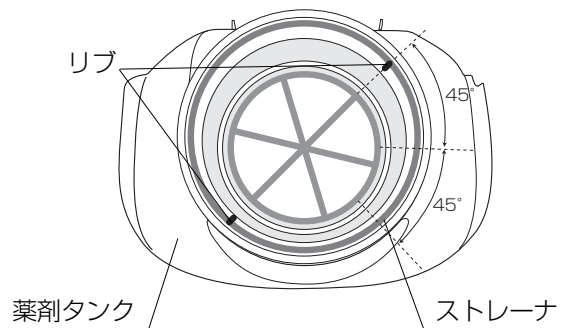


- ③使用後は、計量カップを薬剤タンクフタの元の位置にハメ込みます。

## ストレーナの脱着のしかた

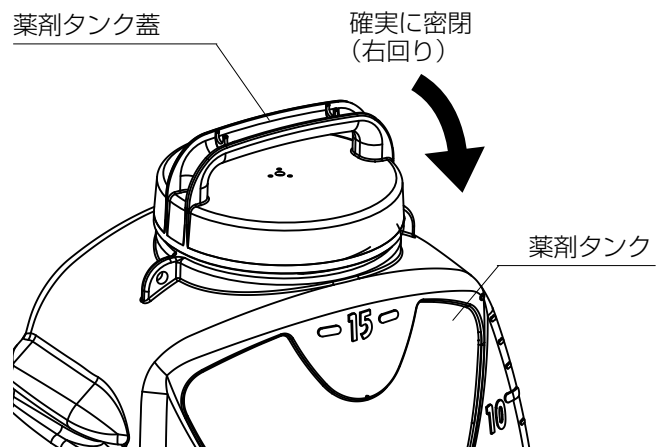


ストレーナの内側の両サイドのリブを薬剤タンクと水平若しくは垂直にすると、ストレーナの脱着ができます。



ストレーナの内側の両サイドのリブを水平若しくは垂直の状態に薬剤タンクに設置し、その位置から45°回転させると、ストレーナを薬剤タンクに半固定できます。発泡系の薬剤使用のとき、ストレーナの浮き上がりを防止することができます。

## 薬剤タンクの蓋の密閉

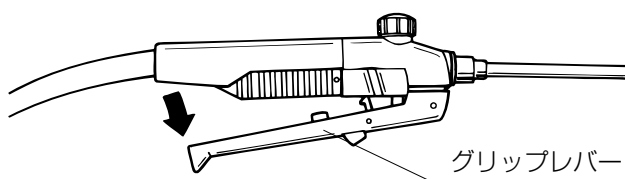


薬剤タンク蓋パッキンを確かめ確実に右に回して密閉します。蓋が緩んでいると薬剤が吹き出し、浴びて薬害をおこす恐れがあります。

## 始動の前に

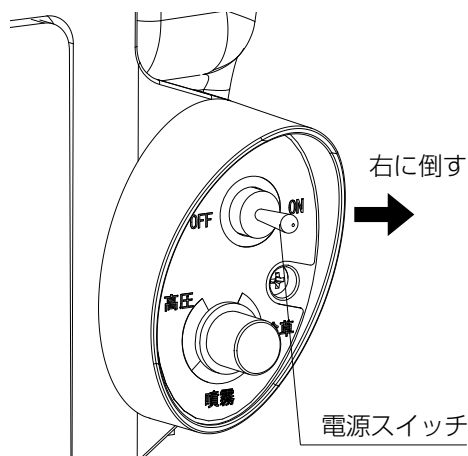
1 バッテリーが充電されている事を確認してください。(充電のしかたは16ページ、18ページを参照してください。)

2 グリップレバーが開いた状態 (スイッチOFF、バルブ閉) となっていることを確認します。

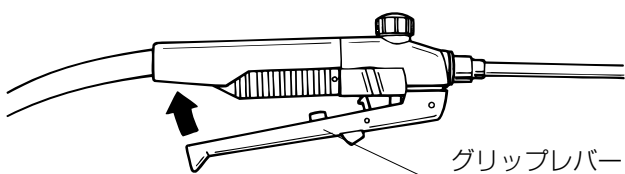


## 始動・運転

1 コントロールパネルの電源スイッチを右に倒します。電源がONになります。(バッテリー残量計のランプが点灯します。)

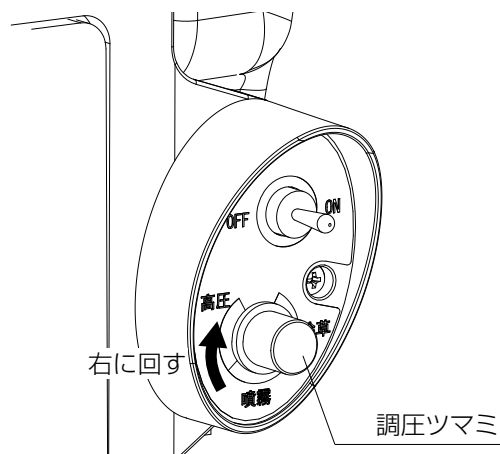


2 グリップレバーを握るとスイッチON、バルブ開となりポンプが動き出します。



3 コントロールパネルの調圧つまみを右方向に回し、圧力を上げます。

- 初回電源ONの直後は、最低圧にセットされています。(製品出荷時)



- ノズルからの噴霧を見ながら、調圧つまみで適当な圧力に調整します。

### 圧力設定の目安

#### ■MUS155D

標準付属ノズル	圧力設定	散布時間/散布量
2頭口ノズル	高圧 (0.3~0.5MPa)	約30分/約30L
	中圧 (0.2~0.3MPa)	約90分/約60L
除草ノズル	除草圧 (0.2~0.3MPa)	約120分/約75L

#### ■MUS156D

標準付属ノズル	圧力設定	散布時間/散布量
2頭口ノズル	高圧 (0.6~1.0MPa)	約45分/約45L
	中圧 (0.3~0.5MPa)	約120分/約90L
除草ノズル	除草圧 (0.2~0.3MPa)	約300分/約150L

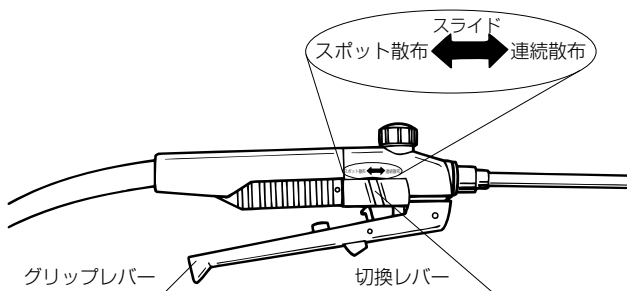
### 注意

- ご使用にならない時は電源をOFFにしてください。
- グリップレバーを放した状態で約20分間放置すると、電源が自動でOFFになります。再始動の場合は電源スイッチをOFFにした後、再度ONにしてください。

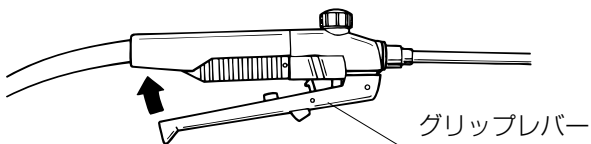


## グリップの使いかた

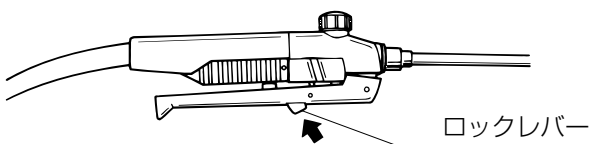
- グリップレバーを握るとスイッチON、バルブ開となり散布作業ができます。
- グリップレバーを放すとスイッチOFF、バルブ閉となり散布作業が停止できます。
- 切換レバーをスライドさせることにより連続散布とスポット散布の選択ができます。



- (1) 切換レバーがスポット散布位置のとき、
- グリップを握ると散布作業ができます。
  - グリップを放すと散布作業が停止できます。
- (2) 切換レバーが連続散布位置のとき、
- グリップレバーを握るとグリップレバーが固定され、連続した散布作業ができます。

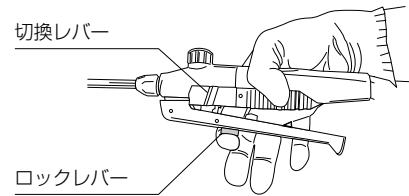


- ロックレバーを押すとグリップレバーの固定が解除され、散布作業が停止できます。

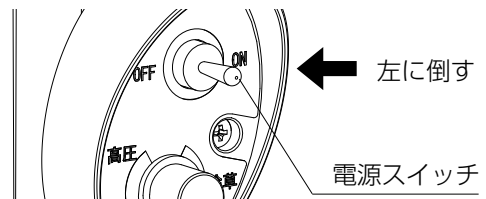


## 停止

- 1 (1) 切換レバーがスポット散布のとき  
握っていたグリップレバーを放すことで、スイッチOFF、バルブ閉となり、散布作業が停止します。
- (2) 切換レバーが連続散布のとき  
ロックレバーを押すとグリップレバーのロックが解除されグリップレバーが元の位置にもどり、スイッチOFF、バルブ閉となって、散布作業が停止します。



- 2 コントロールパネルの電源スイッチを左に倒すと電源がOFFになります。(バッテリー残量計のランプが消灯します。)

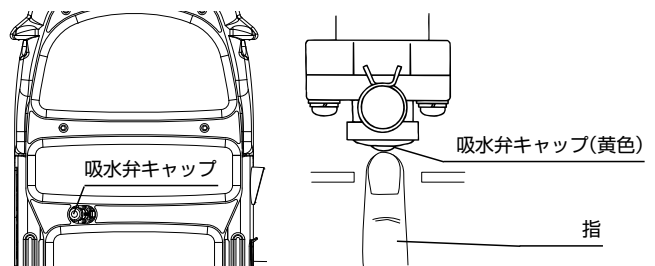


## 吸水弁が固着したとき

長期保管すると、ポンプの吸水弁が固着して、ポンプが吸水しなくなることがあります。その場合は、指で吸水弁キャップを1~2度押してください。

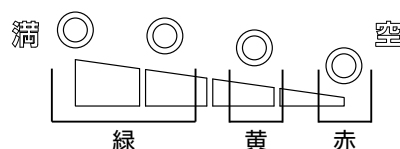
### 注意

- ・強く押す必要はありません。吸水弁キャップ(黄色)は必ず指で押してください。先のとがった棒等で押した場合、破損の原因になります。



## バッテリー残量計の見かた

緑	作業できます。満充電でランプ2個点灯します。充電が減るに従い、点灯→点滅→消灯していきます。
黄	充電してください。
赤	自動停止します。充電してください。



バッテリー残量の確認のしかたは、11ページの「バッテリー残量の確認」を参照してください。



## 充電のしかた

### ⚠ 警告

- ・屋内の乾燥した場所で充電してください。水気があると、ショートや感電の可能性があります。
- ・直射日光の当たらない、風通しの良い場所で充電してください。高温の環境で充電し続けると、バッテリーの劣化、又は、不具合を招く可能性があります。異常を感じたら、直ちに当社問い合わせ先にお問い合わせください。
- ・必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。
- ・充電には必ず標準付属の専用充電器をご使用ください。他の充電器を使うと火災の可能性があります。
- ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・周囲温度が10℃未満、または周囲温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。

### ⚠ 注意

- ・バッテリーのネジを外したり、分解は絶対しないでください。
- ・充電中の充電器は熱くなりますが、異常ではありません。充電器が手で触れられないほど熱くなった場合など、異常を感じたときにはプラグを抜いて充電を中止してください。

### 注意

- ・本機の充電は屋内で行うことを基本としています。直射日光が当たる場所で充電はしないでください。故障の原因となります。
- ・充電器をつないだままで長時間放置しないでください。過充電となりバッテリーの寿命を縮めます。
- ・バッテリーの+端子と-端子を金属類で接触しないでください。バッテリーが使用できなくなります。
- ・バッテリーの充電をしないときは、充電器を電源コンセントから外してください。

### ◎開梱後使用前に、バッテリーの充電を行ってください。

お買い上げ時はバッテリーは十分に充電されていません。(スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

充電回数が多くなったり、年月が経過しますと、1回の充電で使用できる時間が短くなってきます。満充電しても散布作業時間が半減したときはバッテリー寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

#### バッテリーのリサイクルご協力をお願い

本製品のバッテリーはリチウムイオンバッテリーを使用しています。このバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。バッテリーの交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みのバッテリーは、「充電式バッテリーリサイクルボックス」のあるリサイクル協力店にお持ちいただくか、お買い上げの販売店または当社問い合わせ先にお問い合わせください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・端子部にテープを貼るかポリ袋に入れる
  - ・分解しない



リチウムイオンバッテリーのリサイクルマークです。

Li-ion

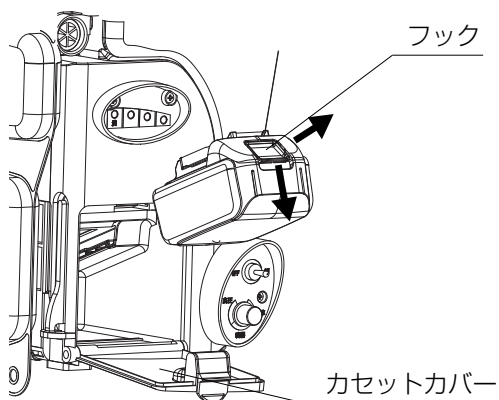
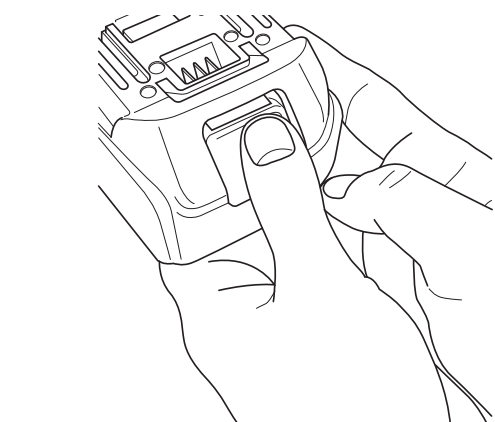


弊社は有限責任中間法人JBRCに加盟し、リサイクルを実施しています。使用済みのバッテリーのリサイクルにご協力ください。JBRCホームページ (<http://www.jbrc.com>)

## バッテリーの充電 (MUS155Dの場合)

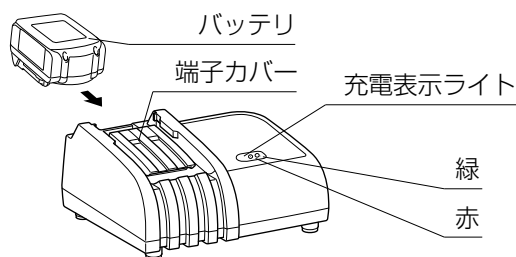
**1** バッテリーを本体から取りはずします。

- ①本機のカセットカバーを開けてください。  
・バッテリーを本機から取りはずす時は、
- ②右手をバッテリーの横に添え、左手でバッテリー正面のフックを下げながら、
- ③斜め上(下図矢印)方向にスライドさせると取りはずせます。



**2** 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。

**3** バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥までいれてください。充電器のカバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。バッテリーを挿入すると充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。

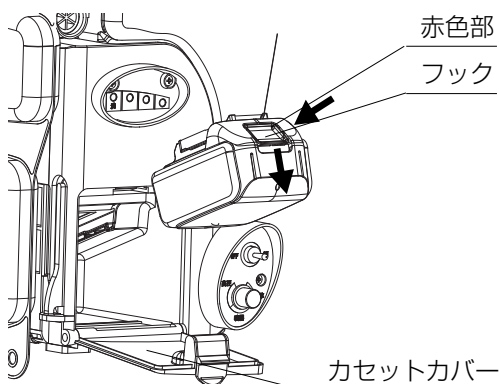


**4** 充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。そのままバッテリーを挿入しておけば、トリクル充電を24時間行います。充電時間は周囲温度(10℃~40℃)やバッテリーの状態(新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど)により変動します。













**5** バッテリーを充電器から抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

**6** バッテリーを元のように奥まで挿し込みます。  
①取り付ける時は本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、フック上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。

②カセットカバーをしっかり閉めます。



## 充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
 	充電前「緑1個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
 	待機中「赤1個」点滅 バッテリーが高温です。バッテリー温度が下がると自動的に充電開始します。
 	充電中「赤1個」点灯 バッテリー容量0~80%を示します。
 	充電中「赤1個・緑1個」点灯 バッテリー容量80~100%を示します。
 	充電完了「緑1個」点灯
 	充電不可「赤・緑1個」交互点滅 バッテリー寿命 またはゴミづまりで充電できません。

### 注意

- DC18SDはマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、バッテリーの温度が下がると充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店へお持ちください。  
×充電器のプラグを100Vの電源に差し込んで、表示ライトが「緑」に点滅しない。

×バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。

×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、2時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない）。

### オートメンテナンス機能について

- ・オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴とします。
- ・下記1～4の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電時間が長くなることがあります。

- 1 高温充電の繰り返し
- 2 低温充電の繰り返し
- 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
- 4 過放電の繰り返し（過放電とは噴霧力が弱くなってもさらに使用する状態です）

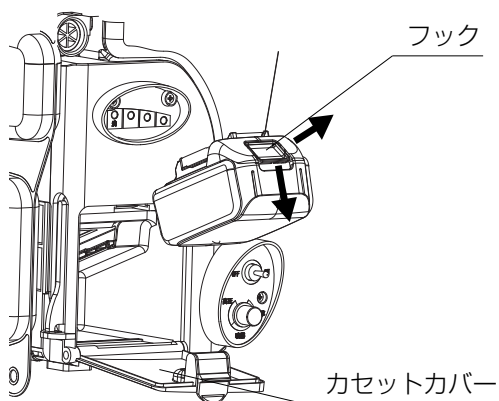
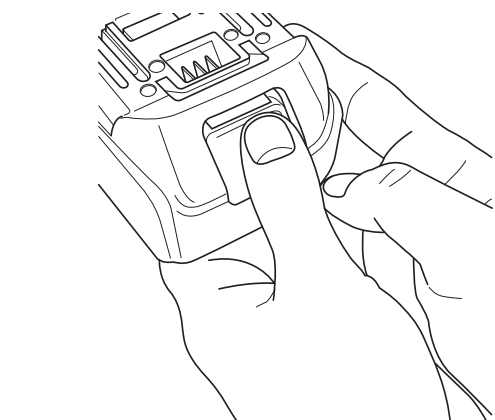
### バッテリーを長持ちさせるには

- ・噴霧力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・使用直後などの熱くなったバッテリーは、少し冷やしてから充電してください。

## バッテリーの充電 (MUS156Dの場合)

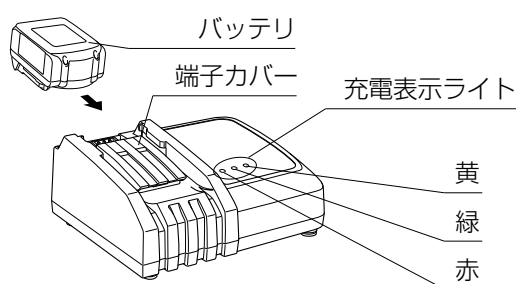
**1** バッテリーを本体から取りはずします。

- ①本機のカセットカバーを開けてください。  
・バッテリーを本機から取りはずす時は、
- ②右手をバッテリーの横に添え、左手でバッテリー正面のフックを下げながら、
- ③斜め上（下図矢印）方向にスライドさせると取りはずせます。



**2** 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。

**3** バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器のカバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。バッテリーを挿入すると充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。



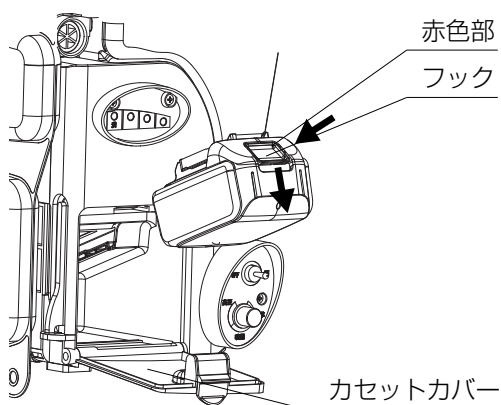
**4** 充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了のメロディーや電子ブザー音が鳴ります。そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却しながらトリクル充電を24時間行います。充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。

**5** バッテリーを充電器から抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

**6** バッテリーを元のように奥まで挿し込みます。

①取り付ける時は本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、フック上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。

②カセットカバーをしっかりと閉めます。



### 充電完了メロディーの切替方法

**1** バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。

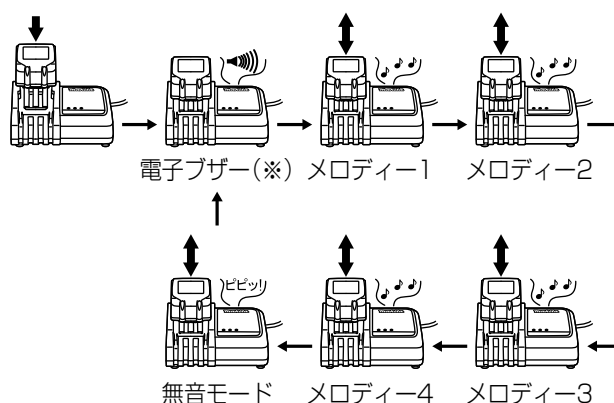
**2** この時、素早くバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。

**3** 続けて素早くバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。

**4** 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。

**5** 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。

**6** 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



(※)出荷時は電子ブザーに設定されています。

### 充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
○ ●(緑) ○	充電前「緑1個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
●(赤) ○ ○	冷却中「赤1個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
●(赤) ○ ○	充電中「赤1個」点灯 バッテリー容量約0~80%を示します。
●(赤) ●(緑) ○	充電中「赤1個・緑1個」点灯 バッテリー容量約80~100%を示します。
○ ●(緑) ○	充電完了「緑1個」点灯 電子ブザーまたはメロディー
○ ○ ●(黄)	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
●(赤) ●(緑) ○	充電不可「赤・緑1個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
○ ○ ●(黄)	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。



**注意**

- DC18RCはマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約20秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店にお持ちください。
  - × 充電器のプラグを100Vの電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない）。

**冷却システムについて**

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお

知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。このような時は、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。

- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

**オートメンテナンス機能について**

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特長としています。
- ・ 下記1～4の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなる場合があります。

- 1 高温充電の繰り返し
- 2 低温充電の繰り返し
- 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
- 4 過放電の繰り返し（過放電とは噴霧力が弱くなってさらにもさらに使用する状態です）

**バッテリーを長持ちさせるには**

- ・ 噴霧力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ リチウムイオンバッテリーは、長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合、充電して保管することをおすすめします。

## 散布作業後

1 薬剤タンク内を洗浄します。

- ①タンク内を清水できれいに洗い流します。
- ②ストレーナを洗浄します。
- ③薬剤タンク内に1L以上清水を入れます。
- ④ポンプを回し、散布の要領でノズルから霧を出します。液がなくなるまで散布します。

2 本機を掃除します。

### 注意

- 清掃、点検および充電の時は必ず本機の電源をOFFにしてください。
- 本機のバッテリー（カートリッジ式）部分に水がかからないように充分ご注意ください。水が入ると、ショートやサビの原因になります。
- 清掃後は本製品の内部に水分を残さないでください。冬期凍結により、ポンプを破損することがあります。
- 付着した薬剤はきれいに取り去ってください。薬剤が付着していると、サビの発生や故障の原因になります。
- 本製品の内部に残った薬剤は回収し、内部に付着した薬剤は洗い流してください。薬剤が残っていたり付着したまま保管すると、次回使用時に薬剤が混ざって薬害を起こす可能性があります。また、ポンプ、ホース、グリッパを損傷する可能性もあります。

3 保護具を洗浄します。

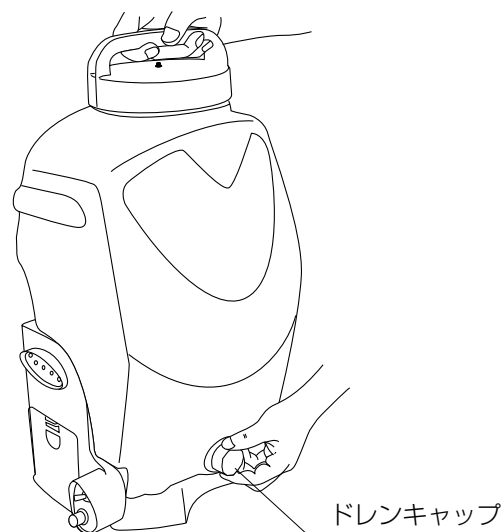
## 水抜きのしかた

### 注意

冬期には薬剤タンク、ポンプ内に薬剤を入れたままにはしないでください。破損の原因となります。

水抜きは必ず行ってください。冬期凍結によりポンプを破損することがあります。

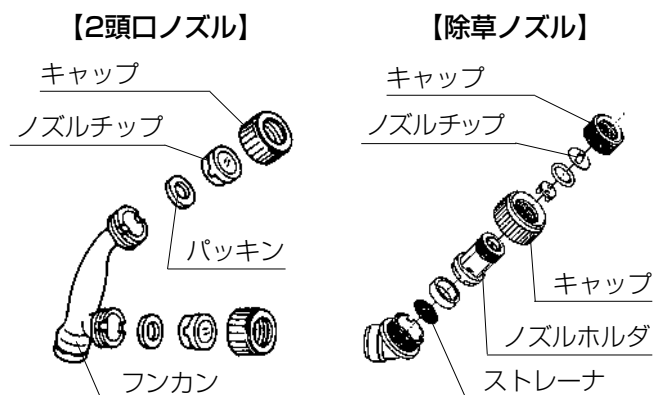
- ①薬剤タンクのドレンキャップを緩め、本機を傾けて、薬剤タンク内の残液を確実に抜きます。



- ②ノズルからの噴霧がなくなるまで運転し、ポンプと噴霧ホース内の残液を抜きます。

## ノズルの清掃

ノズルのキャップのネジを緩めて、ノズルチップ、ストレーナ、ノズルホルダを取り外し、洗浄します。





清掃・点検及び整備の時は必ず本機を停止してください。

### 背負バンドの点検整備

#### ⚠ 注意

背負バンドが損傷すると本製品の落下となり、けがを負う可能性があります。

背負バンドが汚れているときは水洗いしてください。水洗い後、よく乾燥させます。乾燥後、損傷（切れやホツレ）がないか点検し、損傷している場合は背負バンドを交換してください。交換部品については、本製品のお買い上げの販売店でお買い求めください。

#### ⚠ 注意

背あて、背負バンドは、素材の性質上、水分や摩擦などにより色落ち、色移りする場合があります。濡れた場合は、乾いたタオルなどで水分を拭き取り、風通しの良いところでよく乾かしてからご使用ください。

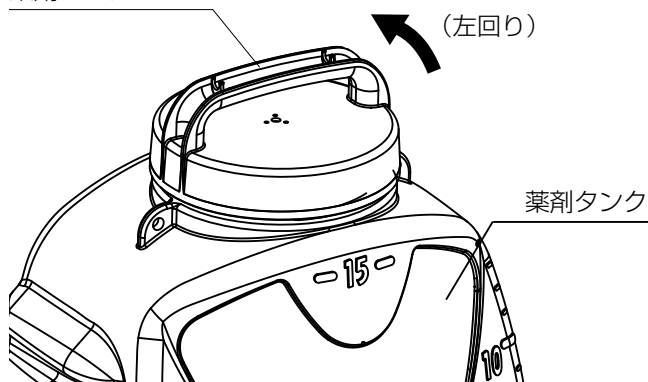
## 8.長期保管

### 格納

**1** 薬液タンク、ポンプ、ホース内の水を確実に抜きます。（21ページの水抜きのかたの項参照）

**2** 薬剤タンク蓋はゆるめておきます。

薬剤タンク蓋



**3** 以上のことを済ませたら、箱などに入れ、湿気の少ない風通しのよい場所に保管します。バンドや樹脂部は紫外線による劣化・損傷が生じることがあります。直射日光が当たる場所には保管しないでください。

#### 注意

- 損傷箇所のある場合は、修理してから格納してください。この場合、部品、消耗品はすべて、当社指定の純正部品をご使用ください。
- 保管は湿気の少ない場所でチリやゴミが付着しないようにしてください。

※長時間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電してから保管することをおすすめします。

噴霧に異常があるときは、次の内容が考えられます。

☆印については販売店、または当社問合せ先へお問合せください。

噴霧が正常でない			
現象	原因	処置	
モータが回らない場合	コネクタの外れ	正しく接続	
	コントローラの不良	交換	☆
	スイッチの不良	交換	☆
	配線の断線	交換又は修正	☆
	ヒューズ切れ	ヒューズ切れの原因を除いてから交換してください。	☆
	モータ断線	交換	☆
	モータ焼損	交換	☆
	バッテリーの電圧低下	充電、交換	
	ポンプに異物のカミ込み	ポンプ交換	☆
	ピストンパッキン固着	交換	☆
噴霧しない	ノズルのつまり	清掃	
	ピストンパッキンの摩耗	交換	☆
	吸水弁の固着	キャップ(黄色)の操作又は清掃	
	ポンプ弁のつまり	清掃	☆
	吸水ホースのつまり、又はつぶれ	清掃又は修正	☆
モータは回るが 圧力が 上がらない	コントローラの不良	交換	☆
	ピストンパッキンの摩耗	交換	☆
	ポンプ弁のつまり	清掃	☆
	調圧弁のつまり	清掃	☆
	調圧弁の摩耗	交換	☆
	ノズルチップの摩耗	交換	☆
	吸水ホースのつまり、又はつぶれ	清掃又は修正	☆
	バッテリーの電圧低下	充電	

充電不具合			
現象	原因	処置	
充電しない	バッテリーの異常	交換	☆
	コネクタの接続不良	正しく接続	☆
	配線の断線	交換又は修正	☆
容量が回復しない	充電時間の不足	充電	☆
	バッテリーの異常	交換	
	充電器の異常	交換	☆
表示ライトが変わらない	バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない (バッテリー、配線の異常)	交換	☆
	表示ライトが点灯しない	交換	☆
	表示ライトが赤から緑にならない	交換	☆

ヒューズ切れ			
現象	原因	処置	
ポンプが回転しない	異物のカミ込み	ポンプ交換	☆
	ピストンパッキンの固着	交換	☆
	スイッチの不良	スイッチ交換	☆

## 保証について

保証期間、保証内容は保証書に記載されています。保証書を読んで確認してください。保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。お読みになられた後は大切に保管してください。

## アフターサービスについて

- 始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
  - 連絡していただく内容
    - 機種名
    - 製造番号※
    - 故障内容なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。
  - 本製品を安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、お買い上げの販売店に、点検整備をお願いしてください。この時の整備は有料となります。
- ※ 製造番号は、製造番号プレート（8ページ付属品と各部のなまえとはたらき）を見てご確認ください。

# 11.主要諸元

25

仕様 ●この仕様は予告なしに変更することがあります。

		MUS155DSH(MUS155DZ)	MUS156DRF(MUS156DZ)
寸法 (長×巾×高)		250×370×550mm	
乾燥質量		5.0kg	5.3kg
ポンプ		ユニフローポンプ (差動式)	
圧力		0.5MPa(5.0kgf/cm <sup>2</sup> )	1.0MPa(10.0kgf/cm <sup>2</sup> )
吐出量	2頭口ノズル	1.1L/min	1.3L/min
	除草ノズル	0.8L/min	0.8L/min
モーター		DCモーター	
薬剤タンク容量		15L	
バッテリー		18V 1.5Ah リチウムイオン	18V 3.0Ah リチウムイオン
連続作業時間		約30分	約45分
充電時間		約30分	約22分
付属品	充電器	DC18SD 1個(MUS155DZは別売)	DC18RC 1個(MUS156DZは別売)
	バッテリー	BL1815N 1個(MUS155DZは別売)	BL1830 1個(MUS156DZは別売)
	バッテリーカバー	1個 (MUS155DSHのみ付属)	1個 (MUS156DRFのみ付属)
	ノズルパイプ	1本	
	2頭口ノズル	1個	
	除草ノズル	1個	
	取扱説明書	1部	



## お願い

### ◎開梱後使用前に、バッテリーの充電を行ってください。

お買い上げ時はバッテリーは十分に充電されていません。  
(スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。)ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)